玖波中だより　No.7

大竹市立玖波中学校　令和５年９月１５日

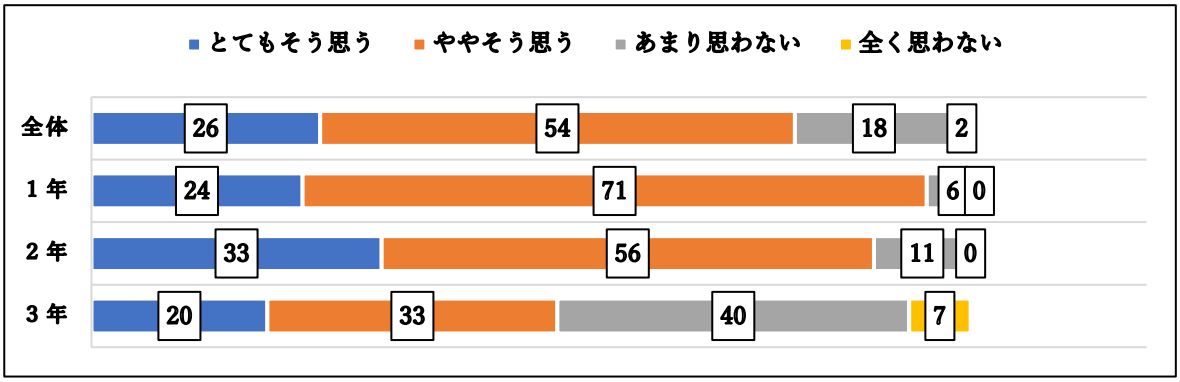
学校教育目標「自他を大切にし，主体的に考え行動できる生徒の育成」

発行責任者　小田　大介　　文責　藤川　健二

生徒対象学校評価アンケートから

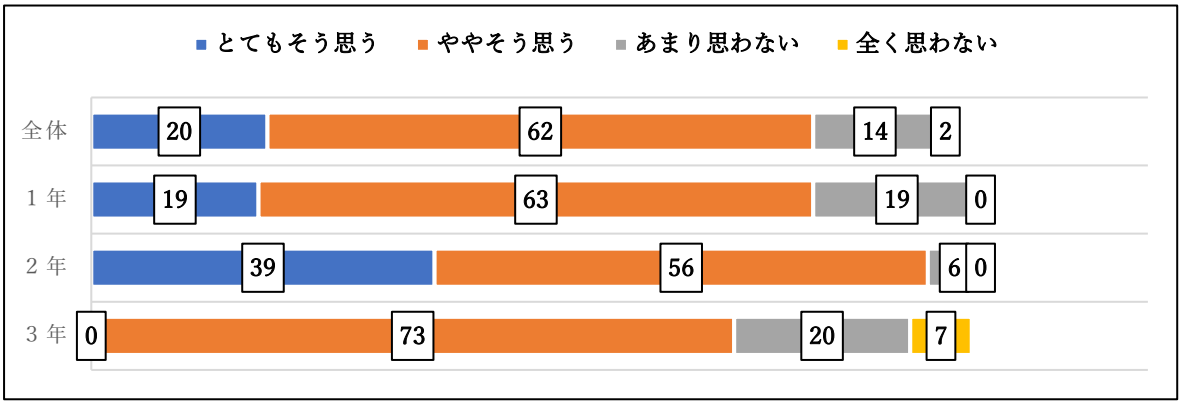
１学期末に生徒対象にアンケートを実施しました。結果と今後の取組みについて，いくつか報告します。

①授業で，情報を分析（比較，分類，関連付け）して何が分かるのかを考えることがある。



授業の取組の成果として，読み取った情報を比較したり分類したりすることや，情報を関連付けて考えることに対して，肯定的な回答をした生徒が80％と，多くの生徒が肯定的に捉えています。これは授業でこうした学習課題を設定する工夫を各授業でしてきたからだと考えられます。しかし，3年生では肯定的な回答が53％と低かったため，「比較」「分類」「関連付け」等のキーワードを繰り返し確認し，「今，何をしているのか」しっかり意識できるようにしていきたいと思います。

②自分には良いところがあると思う



自己肯定感･自己有用感に通じる「自分の良さ」について，肯定的な回答をした生徒が全体で82％と，多くの生徒が肯定的に捉えています。これは 1 学期に行った体育祭や生徒総会などの行事や日々の活動で，周囲からほめられたり，認められたりしたことが数値に反映していると考えられます。特に，体育祭での応援合戦や縦割り団体種目への取組で，練習の段階から生徒は自分たちで練習計画を立て，時に壁にぶつかりながらもあきらめることなく最後までやり遂げました。それによって， 達成感や仲間と喜びや悔しさなど共有できたことが数値の向上につながったものと考えます。2学期も文化祭など控えているため，折に触れて互いの頑張りへメッセージを贈ったり，声に出して良さを具体的に伝えたりする活動を継続していきたいと思います。

学校評価アンケート（地域の方からのメッセージ）

令和５年７月に地域の方々に「学校評価アンケート」のご協力をお願いしたところ，多くの回答をいただきました。お忙しい中，丁寧にご回答いただきまして，ありがとうございました。その中で，「学校の取組や生徒の様子など，お気づきのことをご記入ください」という自由記述の欄にご記入いただきました声をいつくか紹介させていただきます。

○生徒さんと出会う機会がなくなり，以前のように話すことがなくなりました。「玖波中ダイアリー」があること初めて知りました。活動内容がよくわかりました。

○これまで，中学生と交流できる機会がほとんどなかったため，学校のことや生徒のことも情報を得ることができませんでした。このたび，職場体験で中学生と一緒に過ごすことができたことで，真面目に取り組む姿に好感が持てました。これから，このような機会が増えてくると思います。その時は，見守っていきます。

○日常的に生徒さんや先生方との接触が少なく，分からない回答が多くなりましたが，玖波公民館でのイベント等では，非常に積極的な生徒さんが活躍されていると思い感心致しております。

○公民館行事「こども天国」で玖波中生が大活躍していました。おそろいの青いエプロン着用で，役割をしっかりとこなしていました。コロナ禍のときは，地域行事が実施できませんでしたが，やっと色々な行事が復活してきて，中学生のボランティア活動を見ていて，とてもありがたいなぁと思っています。

○下校時の生徒の様子をたまに見かける時，なかなか挨拶ができないようです。知らない人には無理ですかね，公民館行事などではよく動いてくれます。やはり，役割があるという事は仕事がしやすいと思います。玖波中ダイアリーを読ませてもらっています。学校の様子がよくわかります。２学期になってダイアリーが読めるのが楽しみです。

○卓球部の指導を時々お手伝いしていました。３年生の最後の練習の途中で，「明日の試合頑張ってね。」とみんなに声をかけると，３年生が私の所に集まって来て，「３年間指導していただきありがとうございました」と言ってもらい，とても感激しました。挨拶も出会った時に，私の方から声をかけると，挨拶してくれます。自分から進んで出来るようになってほしいです。

○地域の中学生に会う機会は少ないですが，朝夕に出会うことがあれば，「おはよう」「こんにちは」と声を掛けるようにしています。「おはようございます」「こんにちは」と元気に返してくれる子もいれば，ぴょこりとおじぎで返してくれる子もいます。中学生ははずかしがりやの子が多い年頃ですから無視しないだけ充分だと思います。

○地域の子供は地域の宝です。折にふれ声を掛けて関わっていきたいと思っております。学校からも協力してほしいことがあれば何でも言ってください。

新型コロナウイルス感染症が緩和され，中学生が地域に出向く機会も増えてきました。今年になり，玖波公民館にボランティアとして参加した生徒は全体の約 80%の 44 名，複数回にわたり参加した生徒もおり，延べ 100 人を越えました。

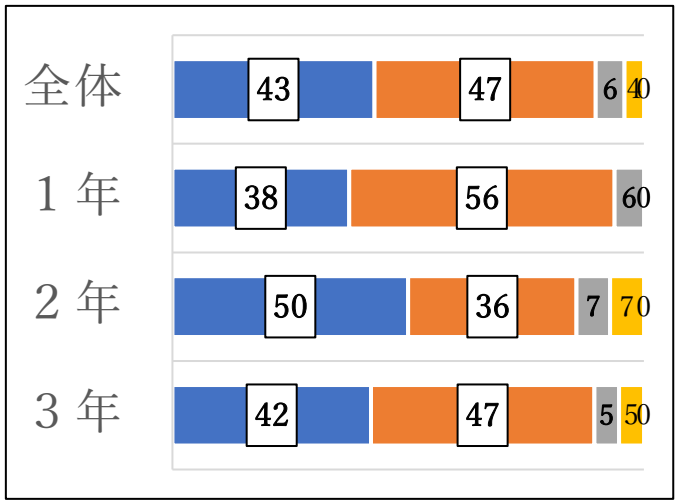
また，玖波中のホームページにダイアリーがあることを知り，毎日閲覧してくださっている方がおられることを大変うれしく思います。ホームページは現在大幅リニューアル中です。今後も最新の情報を続々と発信していきますので閲覧していただければ幸いです。

最後にあいさつです。生徒アンケートでは，「私は進んであいさつをしている」と肯定的に回答した生徒は 88%でした。校内では比較的に挨拶していますが，校外では進んで挨拶ができていないようです。9 月 12 日の学校朝会で，校長が地域の方の声を受けて「ボランティアは積極性があってよいですが，地域での挨拶はこれからです。進んで挨拶をしましょう」と呼びかけました。

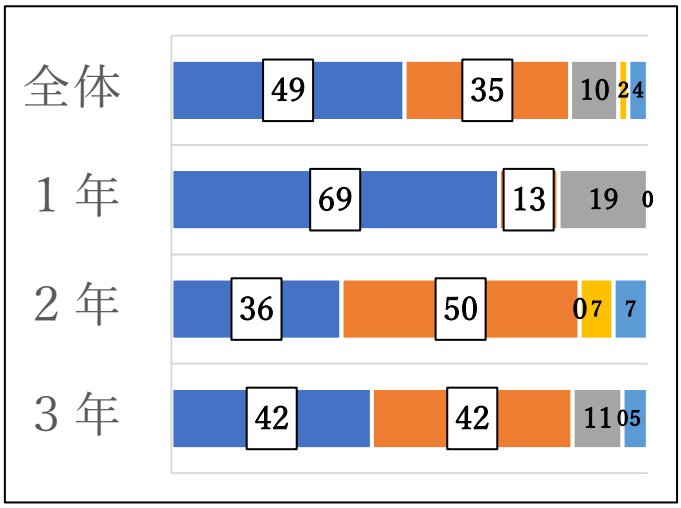
いただきましたご意見を大切にし，玖波地域にとってかけがえのない存在である生徒を，よりたくましい大人へと成長させていきたいと思います。アンケートのご協力ありがとうございました。

保護者対象学校評価アンケート結果

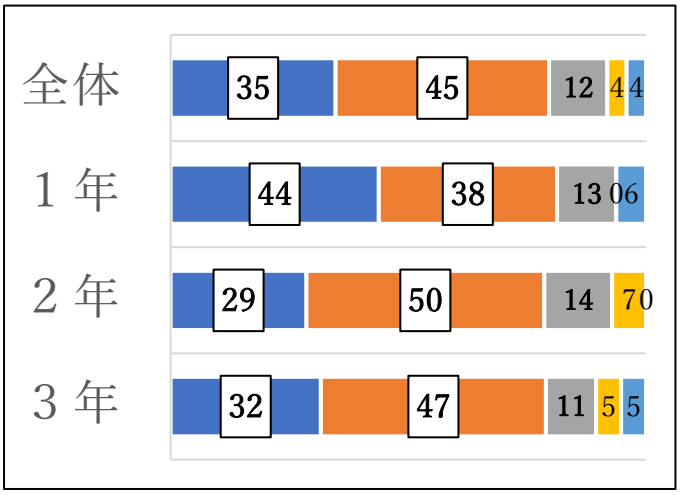
①学校は，教育目標や学校の方針，指導計画や評価方法について，保護者に伝えている



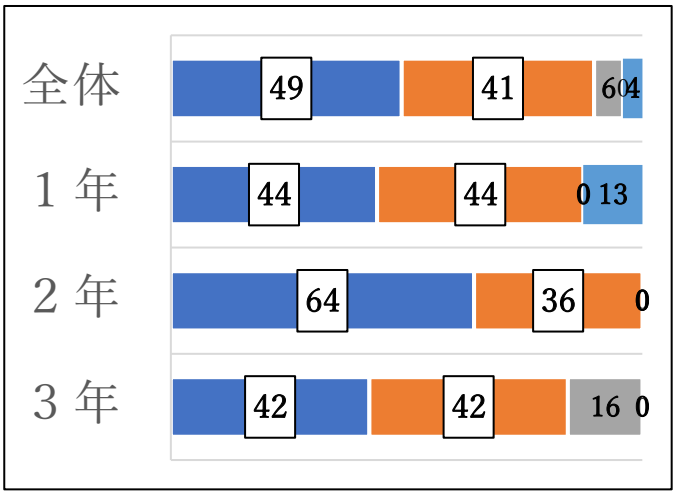
②先生は，子どもとコミュニケーショを積極的に取っている



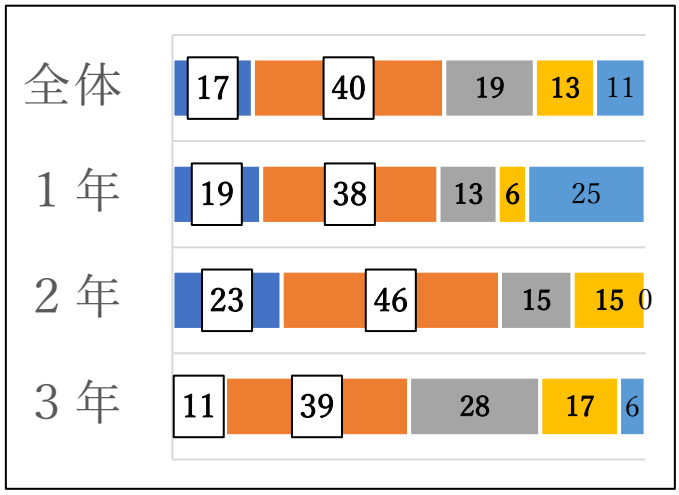
③学校は基礎的・基本的な学力の充実を図り，子どもに確かな学力をつけている



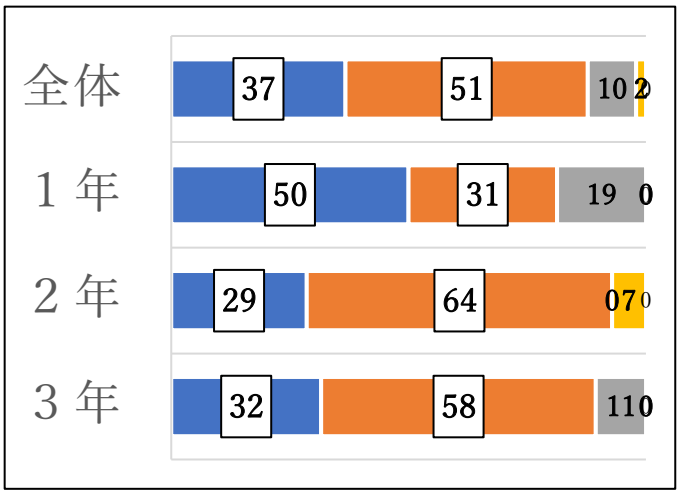
④学校は学校での活動や様子を「〇〇通信」やＨＰ等で積極的に公開している



⑤玖波中学校のＨＰの「玖波中ダイアリー」を読んでいる



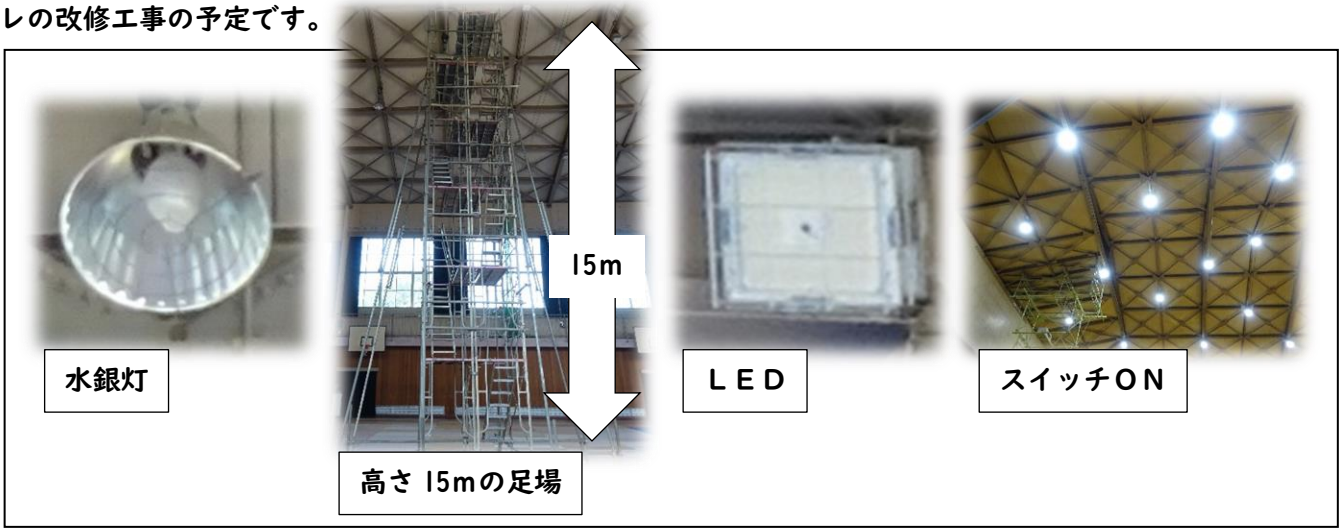
⑥私は学校の教育活動に満足している



リニューアル工事始まる　～仕事は，準備・作業・片づけの繰り返し～

体育館の照明付け替え工事，体育館～校舎渡り廊下・職員玄関アプローチ・生徒玄関のスロープ施工工事が夏休みから始まっています。

体育館の照明取付工事は，夏休み中にあり，バスケットボール部員・バレーボール部員のみんなには不便をかけたことを心苦しく思っています。照明は水銀灯からＬＥＤに取替え，スイッチを入れても点灯まで時間がかかっていましたが，スイッチを入れると同時に点灯するようになりました。何よりも照度が上がり，明るい環境の下，体育の授業や学校行事を実施することができています。古い良さもありましたが，生徒の皆さんには，新しい環境の下，学習に行事に一生懸命頑張ってもらいたいと思っています。10 月下旬からは，２階トイレの改修工事の予定です。



スロープの施行工事はまだ終了していませんが，毎日の仕事の工程を大きく分けると，準備・作業・片付けが共通しています。どの工程も大切だと思いますが，皆さんはどの行程を大切にたいですか？是非その理由も考えてみてください。みなさんの日常生活にもつながる部分だと思います。

保護者の皆様へ

８月 30 日(土)に実施しました緑化作業にご参加いただき誠にありがとうございました。たくさんの保護者の皆様にご協力いただき，グラウンド，テニスコート，テニスコート横，学校裏側の法面の除草を行いました。何年も気になったテニスコート横も大変綺麗になり，バレーコートも見えるようになりました。本校卒業生である現在の保護者から「ここで，クラスマッチ（バレー）をやりよったよねえ」と懐かしむ声も聞こえてきました。

11 月に行われる文化祭では，綺麗にしていただいたテニスコート横（写真）のスペースには 20 台近く駐車できそうです。どうぞ，ご利用ください。